

摂理とは何か

S-tation はカルト組織摂理に対して次のような活動をしております。

摂理に関わる人たちの相談にのる

マインドコントロール下にあり教祖の犯罪行為を認めないメンバーに真実をうったえる

大学など各機関への警告と注意をうながす

摂理組織とメンバーに関する情報収集を行う

摂理概要

摂理とは

伝道方法

バイスルスタディー（30 講論）

礼拝

メンバー（信者）の生活


資金

摂理の何がいいのか

摂理の何が悪いのか

最後に

摂理概要

項目	内容									
正式名称	基督教福音宣教会（旧国際クリスチャン連合）「摂理」は日本での通称で、宗教法人の登記はなし									
教祖	 <p>チョン・ミョンソク（鄭明析） 1945年生まれ 韓国忠清南道錦山市出身（現在「月明洞」という名の聖地となっている）、韓国で強姦、公金横領などの容疑を重ね民事で訴えられるが1999年国外逃亡。2003年に香港で一旦捕まるが保釈金で釈放。その後中国でこれまた大金を積んで身を隠していたが、2007年5月1日に中国公安当局により拘束。なお摂理信者はこの事実を知らない。知っていても認めていない。脱会者、反対者による「陰謀」または「濡れ衣」と認識している。</p>									
信者数	日本国内で2000人弱（社会人のほうがやや多いと思われる）、また男女比は4：6程度									
宣教国	40カ国（教祖談） 韓国・日本・台湾・マレーシア・アメリカ・イタリア・ドイツ・イギリスなど 全世界15万人（教祖談）といわれるがかなり疑問。									
伝道	主に大学のダミーサークルからの勧誘（他に職場・路傍などでの人づてのみ）。 情がわいたところに摂理の教えを「聖書を使った人生に役立つ話」と紹介。 話をすすめていくうちに好奇心と選民思想、偶然性などを強調され、競争意識をあおるなどその人に応じた方法で話を聞かせる。									
教義内容	聖書を使用。統一協会の原理講論と酷似（教祖は元統一協会員）。最初に教えられる30講論が摂理思想の核心。 教祖はイエスが再臨したメシヤであり、現代はイエスの教えだけでなく聖書の真理を解き、新たな御言葉を語れる人の存在が必要であり、今がその時代であると説く。 「メシヤを悟り、メシヤからの御言葉を聞かないと救われない」との教義で、もちろん チョン・ミョンソクがメシヤ であるとの位置づけ。全世界を摂理人とする地上天国をなすことを目的に掲げている。									
主な活動	スポーツ・演劇・音楽など様々な種類のサークルとそれらを管理する教会がある。教会は札幌から熊本まで日本全国約40箇所存在。基本的には教会単位で活動している。水・日曜の礼拝と、早朝5時から朝の礼拝で徹底的に教祖の教えを学び、それを基本に行動する。 礼拝や行事がない時は教祖の御言葉が聖書を読んでいる。個人の時間はほとんどない。 伝道活動を重視し、とにかく人を集めることがよしとされる。信者はかなりストイックで、管理された生活を行っており、激務で体調を崩す者もしばしば。 献金は比較的安価で強制はされないが競争意識は煽られる。									
組織	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日本組織</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> トップは韓国人指導者（海外逃亡中）および日本人の老会長（東京と関西に数名ずつ） 教会リーダー（牧師） 全体部署リーダー（チア牧師など） 報告者（教祖の愛人で教祖と直接に連絡が取れる。摂理内でもその存在は知られていない） </td> </tr> </tbody> </table>	日本組織	トップは韓国人指導者（海外逃亡中）および日本人の老会長（東京と関西に数名ずつ） 教会リーダー（牧師） 全体部署リーダー（チア牧師など） 報告者（教祖の愛人で教祖と直接に連絡が取れる。摂理内でもその存在は知られていない）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 教会リーダー 教会サブリーダー 幹事 </td> <td rowspan="2">} 指導者クラス</td> </tr> <tr> <td>CL（キャンパスリーダー）</td> </tr> <tr> <td> 教会部署リーダー 一般信者 新入生（信者予備軍） </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	教会	教会リーダー 教会サブリーダー 幹事	} 指導者クラス	CL（キャンパスリーダー）	教会部署リーダー 一般信者 新入生（信者予備軍）	
日本組織										
トップは韓国人指導者（海外逃亡中）および日本人の老会長（東京と関西に数名ずつ） 教会リーダー（牧師） 全体部署リーダー（チア牧師など） 報告者（教祖の愛人で教祖と直接に連絡が取れる。摂理内でもその存在は知られていない）										
教会										
教会リーダー 教会サブリーダー 幹事	} 指導者クラス									
CL（キャンパスリーダー）										
教会部署リーダー 一般信者 新入生（信者予備軍）										

摂理とは

カルトに対する正式な定義は存在しません。ですが、私の考えとしては、その組織への入口・および出口になんらかの操作がなされているならば、それは反社会的であり、それが宗教団体である場合カルト宗教と言ってもよいのではないかと考えています。

摂理の入口の操作はダミーサークルでの勧誘です。出口の操作は「ここを出ると霊が死ぬ。裁かれる」といわれる、またはそのような教義内容であるということです。「信教の自由」「個人の責任」という意見も多々あります。他でもない私自身が脱会后「自分の責任」だと思っており、今もその思いはありますので、その意見には賛成するところもあります。ですが、判断できない環境を作って教義を教えることや、ダミーサークルを使っただけの宗教勧誘は断じて許されないものであり、現に摂理だけでなく多くのカルト宗教が暗躍し、また詐欺なども増えている現状を見ても、「騙されるほうが悪い」という短絡的な考え方ではすませることができない域に達しているのではないかと考えています。

伝道方法

伝道には二段階ある。まずはサークルや友人関係などから摂理のダミーサークルにこさせる段階、そしてサークルにくるようになってから、聖書のお話を聞かせようと誘う（証するという）段階である。

1：ダミーサークル

大学内、または大学間のインカレサークルをつくり、そのイベントや練習に参加させ、教会につなげる。ある程度慣れ親しんだ頃に、仲がいい人、または管理者から聖書のお話（バイブルスタディー/以下 BS）を聞くようすすめられる。親しい人からの誘いに断れない、またはその人がいい人なので一度聞いてみる、など理由は様々だが、さほど疑いもなく聞くことができる。

その話の中で自分の悩みを聞きだし、その悩みが BS で解決できるなどの情報を与え、今後も聞き続けようという動機付けを行う。

2：友人・血縁関係

昔からの友人や大学の友人、兄弟姉妹などから直接誘われる方法。ある程度信頼関係が気づけているので、あまり疑われることはない。活動自体は悪い活動ではないので、人間的に成長したところを身近で見ている人ならなおさら疑うことなく、むしろすすんで参加する傾向にある。

またサークル勧誘ではなく、大学や駅を歩く人に道を聞いたり、話しかけたりして仲良くなり連絡先を聞いて、しばらく友人関係を続け、そこから友人を紹介するという形で伝道してくることもよく見受けられる。

伝道

摂理に人を勧誘すること

証（あかし）

聖書のお話を聞かないかと誘うこと。承諾を得れば BS を伝える。

BS

旧 30 講論。教祖がイエス様から教えられたという摂理の講義入門編。最終的にチョン氏がメシヤであると悟るようになっている。

バイブルスタディー（30 講論）

30 個の講義があり、たいがい統一協会の「**原理講論**」と酷似しています。

このバイブルスタディーは、聖書をよく知っている人からすると、引用の仕方が間違っていたり、一般の聖書学とは明らかに違う内容が多々あるようですが、学生は初めて聖書にふれる人が多く、その間違いには気づかないようにできています。

また間違っている点を指摘したとしても、「それは一般の解釈だが、これは最新の真理だから、一般と違って当たり前」と説明されることで解決されます。

例えば摂理ではアダムとエバは 4000 年前に生まれた人物ということが前提となって話が進んでいきますが、聖書のどこにもそのような記述は見当たりません。これはチョン氏がイエス様から教えてもらった最新の真理ということで片付けられます。

BS の重要な講義の核心だけ抜き出すと、次のとおり。

- ・聖書は比喻で書かれているので比喻を解いて読まなければいけない。
- ・人間は霊と魂と肉で構成されている。霊を成長させないと本当の成長とはいえない。霊を成長させるためには**御言葉**を聞き、祈り、霊的な生活をする必要がある。
- ・今がどのような時代かという、新約で「イエスはまたくる」と予言され、再臨主待っている時代。いつ来るかわからないので常に目を覚ましていなさい。
- ・新約でメシヤが来ると予言されているが、メシヤとはどのような人なのか説明。（これがチョン氏とかぶるようにできている）
- ・イエス様は迫害されてしまい完全な歴史をなすことができなかった。だからまた新たに使命を持った人が必要であり、その人がメシヤ。そして今度はメシヤをイエス様のように十字架にかけてしまう失敗をおかしてはいけない。（これがチョン氏が国際指名手配されていることの正当理由となる）
- ・神様は神様のことを正しく知って行動する人（摂理の人）を増やすことを喜ばれる。よってひたすら伝道に励み、ひたすら摂理を広めなければいけない。
- ・エバがサタン・そしてアダムと性的関係を結んだことで人間は墮落した。原罪を持っている。そこから回復する必要がある。（これが摂理での恋愛禁止の理由となる）
- ・神様は神様に対する正しい認識を持った人を増やしたい。そして神様は正しい知識を持った同士が結婚し子供を産んでいくことを祝福とされている。（これが摂理の中の**祝福式**の理由となる）
- ・今はすでにメシヤが来ている時代（誰かは言わない、チョン氏になるようにできている）。人の姿で再臨している。その人を見つけたならば、イエス様の弟子のようにその人のことを広める必要がある。

BS を聞くまでの人、または聞いている途中の人は新入生。聞き終わって礼拝にも出ているような人はメンバーと呼ばれている。

原理講論

予定論・再臨論・墮落論・歴史論など、BS とかぶるものはたくさんある。

御言葉（みことば）神様からの言葉。摂理では教祖の伝える説教。

祝福式

摂理メンバーのみのお見合いパーティーのようなもの。詳細は祝福式に関する手記参照。

礼拝

教祖から届く御言葉を聞いたり祈ったりする時間です。形式は一般のプロテスタント教会の形式とよく似ています。教祖からの御言葉の中に自身をメシヤとしているような発言もあるため、BSで教祖がメシヤであると悟った者が参加できます。

礼拝は録音され、やむを得ず参加できなかった人が後で補えるようにされています。

1：主日礼拝

毎週日曜日に教会ごとで行われるが、その内容はチョン氏の御言葉以外にはない。逮捕前はインターネット中継などを行っていたが、現在は過去のものを繰り返し聞いているようである。献金の時間もあるがわりと少額。その説教の内容を反映させて1週間を過ごす。説教内容をひたすら速記し、そのノートを1週間何度も読み返す。

2：水曜礼拝

毎週水曜の夜に行われる礼拝。主にその週の主題にそった話が行われる。

3：朝のお祈り会

毎朝5時から始まる(教会や状況によって差はあり)お祈り会。祈ったり御言葉を聞く時間。その内容でもって一日を生活する。

4：特別礼拝

クリスマスや年始など、特別に礼拝をすることがある。クリスマスには普通にイエスの誕生を祝う。年始には教祖からその年の主題が発表され、その主題にそって様々な計画がなされる。主題はたいがい「伝道」絡みである。

メンバーの生活

メンバーはとにかくひたすら個人の自由時間などがない中で、時間的にも精神的にも過酷な生活を送っています。体力的についていけなくなる人も多く、そうやってやめていく人は自分を責め続けてしまいます。体力も気力もあり、周りの期待に応えてついがんばってしまう人が摂理に残りやすいと言えます。

次にあげるのは代表的なメンバーの生活例です。教会や信仰状態、**使命**によって異なり、最近には特に以前ほど厳しく決まりを守ったりはしていないようです。親に摂理であることばれないようにするためならば、以前は禁止されていたコーヒーやお酒を飲んだりすることもあるようです。

摂理にとっては、**霊の命**(摂理のメンバーであること)が何よりも大切なので、それを守るためならば少々の規則は破ってもいいという風潮があります。

礼拝形式

準備

(讃美や証)

讃美歌

代表祈祷

聖書拝読

説教

讃美

献金

広告

(お知らせ)

使命

役割。例えばチアやCL(キャンパスリーダー)など。使命を与えることによって責任感を感じさせます。

【平日の一般的な生活】

	学生	社会人
5:00	朝のお祈り会	朝のお祈り会
7:00	ミーティングや復習	仕事
8:30	大学 ・ 構内で伝道 ・ バイトなど	・ 時間を決めてお祈りなど
17:00	夜ご飯の準備	
18:00	新入生に御言葉を伝える ・ ご飯を食べながら団欒 (教育的要素はちりばめられている)	20:00 社会人の新入生と食事など
22:00	新入生帰宅 片付けやミーティング	片付けやミーティング
0:00	条件を果たす	条件を果たす
1:00	就寝	就寝

多くの使命をもつほど条件は増えていきます。例えば私がやめた2002年当時は、毎日8人と条件を果たしていたので、とても1:00には寝られませんでした。

【日曜日】

だいたい午前中から夕方くらいまで礼拝を行い、スポーツをする。スポーツに来ていた新入生をその後食事に連れて行きいろいろ話をする。もちろん摂理的なためになる話を中心に、その会話の空気を読めずにしょうもない話ばかりしてしまったメンバーはよく怒られていた。

【祝日】

イベントを行う。自転車で淡路島一周とか、キャンプとか、スポーツ大会とか、料理大会など。導きたい新入生に合わせた行事を企画する。また行事を企画し、それをネタに勧誘する。

【長期休暇】

夏休みや冬休みは泊りがけでキャンプなどを行う。新入生を連れて行く企画ものもあれば、メンバーだけでひたすら御言葉を聞く合宿なども教会ごとに行われる。夏休みのお盆の頃には聖地「月明洞(ウォルミヨンドン)」で行事が行われるため韓国に出かけることがある。

日常生活

とにかく神様のことを考える。例えば電車に乗り遅れたことで伝道ができ、いい人に出会えたら、「遅れたことを神様に感謝する」など。全て神様に結びつける。

条件

何か願いを叶えたり、自分を強くするために40日間(基本日数)何かをやりとげる。たとえば一緒に祈るなど。

資金

メンバーからの献金や事業の収入が会計に入ります。

【献金の種類】

- ・ 礼拝献金 礼拝のときにひとりだいたい 1000 円ほど献金する
- ・ 10 分の 1 献金 社会人が収入の 10 分の 1 を毎月とボーナス時に献金する
- ・ 特別献金 ボーナス時やリーダーの誕生日、リーダーが困っている、新しい本拠地を借りたい、など、その時に応じて献金する。主に社会人が行う。
- ・ 献品 車やパソコンや電化製品などを買って寄付する。
- ・ 家賃 教会本部に住むものは家賃を払っている。しかしかなり多いので献金を含んでいる。
私は車庫代も合わせて月に 10 万円支払っていました。
- ・ 月明洞献金 月明洞へ行くときには韓国 5 日ほどの旅程で 10 万円ほど払う。大目にとって、月明洞に献金させている。
- ・ 事業の収入 かつて摂理では摂理が経営していた事業からの収入を会計に組み入れていました。現在の会計事情は未確認です。

これらの献金からリーダーや献身者の給料（少ないが）が払われる。

統一協会と違ってさほどの高額献金は行われません。年齢層が低いということも関係がありますが、摂理がきらびやかな建物を建てる必要はなく、教祖の贅沢ができる逃亡資金を、日本のトップが豊かに生活できればそれでいいからです。

下の画像は参考までにチョン氏の中国の隠れ家の写真です。
敷地内には大きな建物が 4 棟あり、それぞれ「教祖の住まい」「韓国館」「日本館」「台湾館」と名づけられ、各国の女性がそこに泊っていました。地下にはプールがあったと訪れた人の証言があります。

中国安鞍のチョン氏隠れ家。



献金問題

関西で教会を建築したいということで 97 年に 2 千万円ほど集まったが、結局いまだに教会は建っていない。これは一例で、会計報告などは一切不明金はかなりある。

献身者

フルタイムと呼ばれる摂理に就職した人。給料は 5 万円程度なのでバイトをしないとやっていけない。

摂理の何がいいのか

摂理を脱会した人も口をそろえて、「いい人たちだった」「いい経験ができた」と言います。またそれがあつたため「いい経験ができた」=「摂理は間違つていない」と短絡的思考を生む原因ともなつています。摂理の何がそんなにいいのかを考えてみます。

集団行動のおもしろさ

ほとんど一緒に生活をしながら、常に行動するというのは、今までキャンプや修学旅行で経験しているのみです。それを長期間行うということは、衝突はあるもののやはり楽しいものです。またひとつの目的に向かつて一生懸命がんばつて、失敗を乗り越えながらも目標を達成させる経験を行うと、病み付きになってしまひます。

集団で行動することにより、まとめる力がついたり、綿密に計画できる能力がついたりします。それを「摂理で得た」と思っている人が多いですが、同じ環境を作れば摂理でなくても実現は可能です。しかも摂理の人たちはリーダーに從うように教育されているので、一般社会では通用しないことも多々あります。

その環境が実際にはなく、だから摂理が素晴らしいところだとみなさんおっしゃいますが、それは教育の結果無理矢理作った環境にすぎません。

人のよさ

「真理を知っている者だから・・・」とよく言われます。要するに摂理に来て真理を知つた者としての行動があるということです。たとえば摂理内ではあまり争うことはありませんし、ひとりがみんなのために働いています。そういう人を尊敬もしますし、全員がそのように動けば自分もそう動くようになります。しかし摂理が育てた分もあるとは思いますが、もつとからそういう人たちに感化されてしまうようないい人が摂理に残つた結果でもあります。密度の濃い関係が結べたということもよく言われますが、ずっと家族のように過ごしてはいますが、限られた空間でマニュアルどおりに過ごしてはいたにすぎず、深いつきあひができているかは疑問です。

答えがある

生きている中で答えが出ない問題にぶちあたり、みんな悩みます。ですが摂理には必ず答えがあり、それを簡単に与えられることが快感となり、また答えが返ってくるのが当然となつた結果、自分で考えることをしなくなります。

救われた実感

摂理の御言葉を聞いて確かに救われた実感があると多くの人が言ひます。摂理は聖書から言葉を引用し、神様を語ります。与えられた救ひは本当に摂理の中だけのものなのかというつと、それは疑問です。聖書や神様の力だと考えられるからです。また「ここで救われた」、「ここが唯一の真理だ」とは、摂理以外の多くのカルト組織もまったく同じように語つています。

集団行動

スポーツサークル・イベント・教会ごと・大学などの単位ごとに必ずリーダーを立て、そのリーダーを中心に行動する。

答え

マニュアルはありませんが、自分の相談の答え、他人の答えなどを積み重ねた結果、だいたひ同一化されます。

摂理の何が悪いのか

逆に摂理の何が悪いのかを考えます。教祖が犯罪を犯していること以外はなかなかクローズアップされませんが、違法でなかったとしても道義的に許されないことがあるし、信教は人の一生を決めかねないことですので、慎重に選ぶ必要がありますが、スポーツサークルの延長でそれがまったくなされていないのも問題です。

ダミーサークルでの勧誘

最終的に御言葉を聞かせるのに、最初にサークルとして近づく、友達になるふりをするというのは詐欺です。摂理の言い分は「友達になっているだけ。仲良くなった人が聞きたいと言ったから聖書のお話を聞かせただけ」「スポーツをしている人の中で聖書のお話を聞きたいと言うから聞かせた。強制はしていない」です。表面上は確かにそうです。ですが裏では人を集めるためにイベントをしよう、集めたらなるべくたくさん聖書の講義を行っていきこう、とにかくメンバーを増やしていきこうという目的があるはずで、声をかけてただ友達になっているわけではありません。そのように勧誘された人がまた多くの人を勧誘してしまうことを考えれば、大学などでも思い切った対策が必要です。

メシヤが偽者である

教祖は犯罪者です。その他数々の罪で追われる存在ですが、そのうちのひとつに性犯罪があります。

確かに性犯罪は被害者や本人の証言がなければ立証が難しいことです。しかし摂理側が言う「立証が難しいから嘘だ」という論理は成り立ちません。電車での痴漢冤罪を引き合いに出す摂理指導者もいますが、そのような一過性なものではなく、長きにわたって様々な国の様々な人たちが被害を訴えているという現状を考え、また告訴されて判決が出たものを含め、犯罪はあったと考えるのが妥当です。そしてそのような数々の声と向き合わずに逃亡する教祖はメシヤとは言えません。

「日本での活動は純粹だからいいのではないか」という方もいますが、その活動が、チョン氏がメシヤであることを前提に行われている限り、また彼をメシヤだと信じている限り、まったくの偽者を一生信じ続けるということとは不幸ですし、その犯罪者をトップとする組織の勧誘活動も反社会的行動です。

そして摂理の人が彼をメシヤだと信じるに至った過程は、教義や人柄によってコントロールされているものなのです。

そのコントロールとは、チョン氏が考えた論理でチョン氏がメシヤになるのは当たり前前ということです。ほとんど聖書を知らない人に、「聖書とはこういうもんだ」「メシヤというのはこういうもんだ」とチョン氏の都合のいいように教えれば、結果チョン氏がメシヤになるのは当然だということです。わかりにくい聖書を自己の都合のいい解釈でメシヤになってしまった人は今までもいくらでもあります。

ダミーサークルでの勧誘

虚偽の勧誘や、重要な事実を告げない勧誘は違法です。また大学でサークルが公認されているならば、大学側の責任も問われます。

表に出ないこと

摂理がまったく看板を掲げていないこともそうですが、組織が間違いを犯したならば、必ず表に出てきて謝罪する必要があります。もし身に覚えのないことであるならば、釈明をするためにも表にでてきます。何があっても逃げ隠れしかない組織であるならば、今後暴走する可能性があります。

逃げ隠れするにも様々な理由づけがされています。ということは、今後何を犯しても様々な理由づけがされ、また社会がそれをチェックすることができない危険性があるということです。

ひとつの考えに縛られる

「摂理でたくさんのことを学んでいる」とメンバーは言いますが、表面上はひとつでも、それらの根本は全てつながった思想で統一されています。「摂理を広めるため」「自分の霊を成長させるため」です。そのためには嘘をつき、また多くの犠牲を払います。世の中には様々な価値観と、様々な人であふれているというのに、摂理には同じ価値観と同じような人しかいません。それがどのような結果を生むかというと、争いのない、妥協をしない、忍耐をしない、苦勞をしない、深く考えない、マニュアル通りにしか動かない、というとても平和ボケした幼い人を育ててしまいます。

よく一般の人が摂理の人に会ったときに印象を「人はよさそうだが幼いし甘い」といいます。そのとおりだと思います。それが悪いといっているのではありません。ですが、「成長している、立派な人間である」「素晴らしい経験をしている」とは言えないということです。もし成長したとを感じるならば、それは摂理の中でしか通用しない「成長」です。

今後のこと

摂理ではメシヤの意見は絶対的です。そのメシヤにならうように言われている、教会指導者の意見もまた絶対的です。もし「仕事がしんどくてやめたい」と相談に行ったときに「やめて摂理に就職しなさいよ」と言う指導者であるならば、そのとおりにしてしまいます。

将来をひとりの意見で決めるというのは非常に危険です。教祖が「迫害者を裁け」と言ったときに、韓国人の信者が摂理反対者を襲撃した事実もあります。日本は大丈夫、とは言い切れません。麻原がサリンをまけと言われれば、それが悪いことだと考えもせずにまいてしまうのがカルトです。チョン氏は現在(07年10月)逮捕されていますが、今後新たなメシヤが立てば同じです。

また摂理では摂理内の人としか結婚してはいけません。摂理外の人だと、摂理の活動をしなくなったり、信じなくなったりするからです。これは教義でも語られています。ということは、子供が生まれたならば、その子も摂理の中で育てなければいけないということです。カルト二世の問題は非常に複雑で、彼らの成長に大きく影響を及ぼします。生まれたときからの価値観が偽物だとわかったときのショックは、途中で信じた人の比ではありません。

表に出ない

摂理では表に出ない理由を「争いたくない」と説明しています。表に出ることは争うことではありません。責任をとるということです。最低限私の前にでも出て来てくださいと6年ほど言い続けていますが、それも行われていません。

最後に

信じることはそれ自体悪いことではありません。ですが、ひとつのもの信じることで他を排除したり、他のものが疎かになってしまうことは非常に危険だといえます。しかし何を信じるかは個人の自由で、摂理もまたそうであるはずで

すが、あらゆる客観的事実を都合が悪いからと無視したり、信じすぎた結果真実さえ見えなくなっている組織であるならば、やはり危険視せざるをえません。また「人がいい」ということだけで騙されてしまうほうの責任もまったくないわけではありません。それは家族や大学といった社会が教えていくものでもあると思います。

カルトが教えることは「真理」です。それはその組織の中だけに通用する唯一の真理で、他を認めません。家族や大学が教えることは、「世の中にはこれだけが正しいという答えはない」ということです。

ご家族や大学の学生がカルトに入ってしまったのを発見されたならば、当人を責めるのではなく、自分たちを責めるのではなく、当人がなぜそこに魅力を感じてしまったかを考えてほしいと思います。

この文章がその一助となることを願っています。

また疑問点などはメールでお答えいたします。

あっこ@駅長